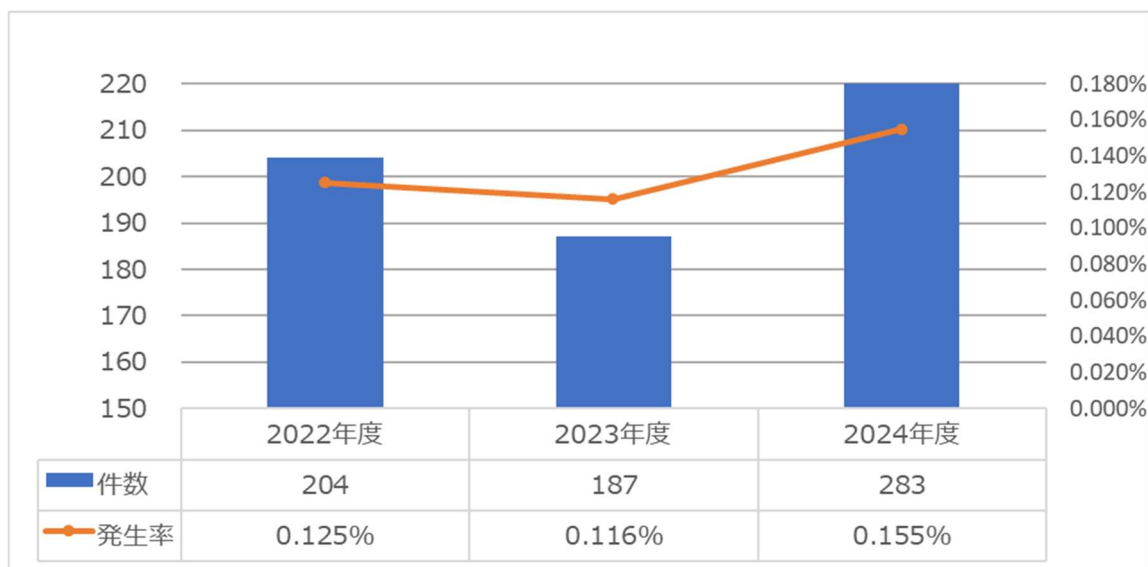


指標29 入院転倒・転落発生率



<定義>

分子	：	入院患者に発生した転倒・転落の件数
分母	：	入院延患者数
期間	：	2022年度～2024年度(1年毎に集計)
対象	：	上記期間の入退院患者

<解説>

院中には、ベッド周辺、歩行途中、トイレの行き帰りなど、思わぬところで転倒・転落の危険性があります。転倒・転落は、時に骨折や脳出血等重大な障害を引き起こすこともあり、防止に向けた環境整備や予防計画立案と実施が重要となります。そのため、入院時には患者さんの転倒・転落の危険度をアセスメントし、看護計画を立て、実施し、多職種で共有しています。また、令和5年度より、多職種による院内ラウンドを開始し、個別的そして構造的な視点から転倒・転落防止に組織として取り組んでいます。令和2年度からは詳細な要因分析を行い、それに基づいたマニュアルの整備をしています。令和4年度以降は転倒・転落発生率を測定し可視化に取り組んでいます。

※ 本データは当院で収集したデータを基に作成しています。